

ごみ量の少なさ 3年連続で全国1位！ ～市民・事業者の皆さんのごみ減量・資源化意識の高さ～

環境省は令和7年（2025年）3月27日に、令和5年度（2023年度）における全国の一般廃棄物の排出及び処理状況等の調査結果を発表しました。

その結果、本市は、ごみの排出量の少ない自治体ランキング「人口50万人以上の都市」において、3年連続で全国1位となりました。

1 リデュース（1人1日当たりのごみ排出量）

令和5年度（2023年度）のごみ排出量は698.4g/人日で、令和4年度（2022年度）と比べて28.4g/人日減少し、3年連続で全国1位となりました。

これは、市民・事業者の皆さんのごみ減量・資源化意識の高さにより、達成できたものと考えております。

（参考）令和4年度（2022年度）

1人1日当たりのごみ排出量 726.8g/人日

1人1日当たりのごみ排出量

令和5年度（2023年度）

1	八王子市	698.4g/人日
2	川崎市	729.5g/人日
3	松山市	732.0g/人日

※環境省報道発表資料より
※人口50万人以上の都市
※ごみ排出量には事業系ごみを含む

2 リサイクル（リサイクル率）

リサイクル（リサイクル率）は28.0%で、令和4年度（2022年度）と同順位で、全国2位となりました。

（参考）令和4年度（2022年度）

リサイクル率 28.3%

リサイクル率

令和5年度（2023年度）

1	千葉市	34.6%
2	八王子市	28.0%
3	名古屋市	26.4%

※環境省報道発表資料より
※人口50万人以上の都市